

山本政喜 やまもと まさき 英米文學翻譯家。明治二十二年四月、二十日福岡縣生れ、昭和二十五年四月七日歿（一八九一—一九六〇）。筆名榎小一夫。大正十二年東京帝國大學文學部英文學科卒。法政大學豫科・玉川大學・明治大學各教授歴任。

譯書の、マイケル・ゴウルド著『アメリカ・プロレタリア文學評論』（榎小一夫名、阪井徳三氏譯、昭和六年十月二十日往來社）、サミエール・バトラ作『エレホン』（昭和十年一月二十日岩波書店）『岩波文庫』（H・G・ウエルズ著『世界文化小史』（昭和十四年一月十日二玄書房）『文化と技術叢書』（ビート・レイゲン作『山の寶』（昭和十五年十一月十五日二教書院）、ロウエル・トマス著『ハイバル峠を越ゆ』（昭和十七年十月一日二教書院）、セギユール夫人作『學問のあるロズの語』（昭和二十四年四月二十日實業之日本社）『世界名作文庫』（ジャック・ロンドン作『野性の呼び声』（昭和二十五年六月五日万有社。再刊、二十八年四月五日角川書店）『角川文庫』（ベラミー作『願ひ女れば』（昭和二十八年二月二十日岩波書店）『岩波文庫』（シェリー夫人作『ナランケンシエタイン』（昭和二十八年九月二十日角川書店）『角川文庫』（アーネスト・デイルムネ著『生活の哲學—思考の技術』（昭和二十九二年二月二十日創藝社）、サミエール・バトラ作『肉なるもの道』（全二冊）（上巻、昭和二十二年七月五日、下巻、二十日新潮社）『新潮文庫』（等。

